

国際自由都市を目指す濟州特別自治道

「グローバル人材育成」



目次

I グローバル教育環境

II グローバル人材育成ビジョンと目標

III 主要施策及び事業推進状況

IV ご協力をお願い



济州特別法 教育特例

高度の教育 自治の実現

教育監、教育委員に対する住民投票制度の最初導入、住民参加の拡大

私立学校法人、教育機関の設立・運営

国際的な 教育環境 づくり

営利法人、国際学校設立を許可
(小・中・高校)

国際学校の運営上、自律性を確保
-教育関係国内法律の適用を排除

教育機関の 国際的な 競争力の 強化

外国学校(非営利)法人の外国教育機関の設立・運営を許可

道内大学において外国大学の教育課程を設置

济州特別法の制度改善

济州をグローバル時代の人材育成拠点都市に育成

I. グローバル教育環境



▶ 道内教育機関の現況






区分	計	小学校	中学校	高校	大学
総計	189校	110校	44校	30校	5校

※ 済州の一般高校の生徒たちの受験(大学の入学試験)成績は全国で一番トップ！
 ➡ 4年間続いて済州が入学試験の4つの分野ですべてトップを達成！

▶ 道内学校の国際交流の現況



区分	交流対象	交流分野
小学校	5ヶ国(6学校) ➡日本、オーストラリア、アメリカ、コンゴ、ベトナム	相互訪問 展示会 衣類援助など 
中学校	4ヶ国(9学校) ➡日本、オーストラリア、中国、ベトナム	相互訪問 
高校	2ヶ国(12学校) ➡日本、中国	相互訪問 修学旅行 
大学	54ヶ国(303学校) ➡日本、中国、英国、ロシア、ドイツ、オランダ、フィリピンなど	学生及び学術交流 インターシップ 語学研修交流など 

Ⅱ. グローバル人材育成ビジョンと目標



ビジョン

国際自由都市を目指す
グローバル人材の育成

目標

- ・ グローバル人材育成のハブ形成
- ・ 青少年グローバルネットワークの拡大とグローバルマインドの養
- ・ 国際自由都市にふさわしい道民のグローバル力強化

教育ハブ形成

青少年グローバル
人材育成

道民の
グローバル力強化

主要
施策

英語教育
都市造成

濟州国際青少年
フォーラム

国際化奨学財団
事業

外国語教育

グローバル
意識教育

国際化アカデミー



Ⅲ. 主要施策及び事業推進状況



1 グローバルな人材育成の教育ハブづくり

▶ 済州英語教育都市の造成



事業目的

- 済州に、海外留学と同レベルの環境をつくり、将来的に世界各国で活躍する人材を育成
- 国内の小・中・高校生たちの海外早期留学需要を吸収して、社会・経済的な問題の解決
- 全世界からの学生を誘致して、国際交流の場を設ける



事業概要




- 位置：西帰浦市大静邑一帯
- 造成面積：3,792千㎡(115万坪)
- 誘致学生数：9千人(現在1,700人が在学中)
- 事業期間及び計画人口：2008～2021年(14年間)、22千人が滞在(目標)
- 主要施設：国際学校、外国大学・大学院、英語教育センター、文化施設、住居・商業施設、図書館、公園緑地など



Ⅲ. 主要施策及び事業推進状況



世界最高レベルの海外の名門私立学校を誘致

学校名	学生数	備考
 NLCS North London Collegiate School	735人	イギリスの有名な私立高校
 BHA Branksome Hall Asia	536人	カナダの私立女子高校
 KIS Korea International School	428人	韓国国際学校

済州英語教育都市だけの特例の提供

- 国内の教育法の適用を排除し、学校運営の自律性を保障
- 内・外国人の入学資格制限の撤廃、営利法人の学校設立許可など



➡ これから世界の舞台で活躍する全世界の未来の主役たちが、国際自由都市・済州で共に成長する

Ⅲ. 主要施策及び事業推進状況



2 青少年のグローバルネットワークの拡大とグローバルマインドの育成

▶ 済州国際青少年フォーラム



フォーラムの目的

- ・ グローバルな 이슈を青少年の立場から新たに認識し、全世界の青少年たちの人的なネットワークを構築するために2010年に創設、毎年開催中



2013年第4回済州国際青少年フォーラム開催結果

- ・ 期 間:2013. 10. 24(木)～10. 28(月)、4泊5日
- ・ ディスカッションテーマ : 4つのテーマ
- 青少年のリーダーシップ、スマートフォン中毒、校内暴力、不平等な食糧分配
- ・ 参 加:9カ国19都市120名
(2010年第1回～現在まで430人が参加)



期待される効果

- ・ 国際青少年間の友誼増進、独自のグローバルネットワークの構築およびグローバルマインドの育成
 - ・ 未来のグローバルな青少年たちと共に済州の美しい景観と未来の価値を共有
- ➡ 日韓海峡の日本側4県からも来年、積極的に参加して下さることをお願い致します。

Ⅲ. 主要施策及び事業推進状況



▶ 濟州国際化奨学財団事業



「グローバルチャレンジ・クイズチャンプ」外国語放送事業

内 容

- 青少年が直接出演する外国語クイズプログラムの放送を常設運営
- 2007年から毎年、KCTV放送社へ業務委託の事業推進

2013年度の推進状況

- 放送回数:年間50回(英語38、中国語12)、1回60分編成
- 内 容:学生・道民対象の外国語クイズ大会、外国語ディスカッションなど

2014年の推進計画

- 現行の英語中心 ➡ 中国語・日本語のプログラムの拡大推進

期待される効果

- 効果的なメディアを利用して国際自由都市にふさわしい青少年及び道民のグローバルマインドの育成

Ⅲ. 主要施策及び事業推進状況



▶ 濟州国際化奨学財団事業



学生の海外探訪事業

内 容

- 毎年、外国語能力が優秀な学生を選び海外探訪を推進

2013年度の推進状況

- 対 象: 中/高/大学生91名
- 内 容: 日本(福岡など)歴史文化探訪(2013年8月、4泊5日)

2014年の推進計画

- 現行中・高校・大学生 → 小学生も含めた対象の拡大推進
- 集団海外研 → 小グループ公募制「テーマ研修制」導入の推進

期待される効果

- 濟州特別自治道の青少年の幅広い世界観の形成
- 多様な国の歴史及び文化に対する理解の増進

Ⅲ. 主要施策及び事業推進状況



3 国際自由都市道民のグローバル能力の強化 ▶ 公務員長期外国語教育課程の運営



目的

- 国際化時代において、外国語でコミュニケーションできる人材の育成を通じて外国語実用化の早期定着をリードする
➔ 全国初、6.7級を対象に1年コースの外国語教育課程の運営



推進状況

区分	総計	'03年~'08年	2009年	2010年	2011年	2012年	2014年	備考
計	337	182	42	48	32	33	46	
英語	250	166	22	30	18	14	30	
中国語	47	16	9	8	7	7	9	2008年度から開始
日本語	40	-	11	10	7	12	7	2009年度から開始

▶ 公務員オンライン外国語教育課程の運営

- 2003年以後の終了状況 ➔ 19,105人(英語13,395人、日本語3,052人、中国語2,658人)

Ⅲ. 主要施策及び事業推進状況



▶ 公務員対象のグローバル意識教育



目的

- 国際自由都市の公務員にふさわしいグローバル意識および基本的な素養教育を通じて、国際化マインドを高める

推進現況

- 2011年から公務員対象の国際化マインド育成課程を開設・運営
- 2011～2013年現在までの運営実績・20回・658名

区分	2011年	2012年	2013年
教育対象	5級以上	6級以上	全職級に拡大
教育内容	テーブルマナーの実習中心の教育	テーブルマナーの実習中心の教育	-アジア文化圏への理解教育 -テーブルマナー実習
修了人員	7回、227名	7回、213名	6回、218名

期待される効果

- 国際自由都市および国際的観光地にふさわしい国際的な感覚とマインドを備えたグローバルな公務員の輩出
- 多様な国々の社会・生活文化への理解と学習を通じて、多文化社会に対応できるマインドの習得

Ⅲ. 主要施策及び事業推進状況



▶ 道民対象の国際化アカデミー講座

目的

講座概要

推進状況

期待される効果

- 国内で優秀な専門家を招待し、レベルの高い教育を通じて国際自由都市道民のグローバルマインドを養成しまた先進の市民意識を高める
- 総358回の講座、約54,000人の道民が参加(毎回平均150人が参加)
 - 実行主体: JDC(濟州国際自由都市開発センター)/KCTV濟州放送局
 - 講座区分/時期: 道民、大学生、青少/毎週金曜日
 - 招待講師: 各機関長(知事、JDC理事長)、各分野の優秀な専門家など

区分	総計	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
計	358回	80回	80回	71回	68回	59回
道民	177回	60回	30回	30回	30回	27回
大学生	105回	-	30回	26回	26回	23回
青少年	76回	20回	20回	15回	12回	9回

- 濟州国際自由都市のPR効果の拡大及び道民との共感づくり



IV. ご協力のお願い



2014年 第9回平和と繁栄を目指す濟州フォーラム参加へのお願い



期間/場所

2014. 5. 28(水)～30(金)/ヘビチホテル&リゾート

参加人数

約4,000人(国内外の元首脳、学界財界の専門家など)

主なプログラム

プログラム: 平和、経済、文化、環境、女性問題についてのセクション運営
イベント: 開会式及び歓迎イベント、濟州世界自然遺産ツアーなど

ご協力のお願い

8県市道の共同发展方法について論議する場を設ける

→ セクション運営を提案

* セクション企画費用は、濟州特別自治道が支援



ありがとうございます。
カンサハムニダ！

